

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標 12月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

「目には見えない大切なもの」

校長 岩崎 健治

早いもので師走を迎える頃となり、学校もあと残すところ3週間あまりで冬休みを迎えます。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、様々な教育活動が制限されました。

そして、今もなお感染拡大に伴う厳しい状況が続いています。今年、学校は創立20周年を迎えます。その一環としての取組、みんなの目標「たいよう20周年」のもとに「おいおいケーキ」を制作しました。各学年が主体的に工夫して取り組みました。一番上には時計台があり8時(20時の意味)を示していたり、ケーキ全体に白い花が飾られたり、キルトで作られたオレンジやキウイフルーツ、イチゴが付いていたり、一人ひとりの思いを書いたろうそくが20本立ててあったりします。みんなの気持ちや願いが伝わる素敵なケーキができました。その素敵なケーキからは、目には見えない大切なものが伝わってくるようで心が温まる気持ちになりました。

さて、以前読んだ「星の王子さま」(フランス人作家のサン=テグジュペリ作)を連休中に読み返してみました。柔らかい文体とファンタジーな世界観に魅了され、改めて感動しました。作品の中には、『大切なことは、目に見えないんだよ。』という言葉が、幾度となく綴られ、とても印象に残りました。

この「目に見えない大切なもの」を考えると、目標に向かって頑張る力、他の人とうまく関わる力、思いやりの気持ち、感情をコントロールする力などを考えることができます。

私たちは「漢字が書ける、計算を速くできる、作文を上手に書ける」といった、目に見えて知的に賢くなったと感じる能力を重視しがちです。しかし、目には見えない能力を身に付けることは、大人になってからの幸せや安定につながるのではないかと思います。うまくいかないときに諦めず「どうしてかな」「これがダメなら、ああやってみよう」など目標の達成まで頑張る姿勢、我慢する力、感情をコントロールする力等は一生残り、大人になって社会で生きていく力につながるのではないかと考えます。

では、その能力はどうやって身に付けるのでしょうか。まず、子どもの自発的な部分を大事にすることではないかと思います。させられるのではなく、自分から自発的に夢中になって取り組む中で、やる気、意欲、粘り強さ、探求していく力が身に付いていきます。また「頑張ればできる」経験を積み重ねることも大切です。これからの社会は加速度を増しながら変化していきます。複雑で予測困難な社会に向け、一人ひとりが未来の担い手となれるよう、この「目に見えない大切なもの」を学校教育の中で、様々な場面で、可能な限り伸ばしていきたいと思えます。そして、「笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘」を目指していきます。

今年も残すところ1ヶ月となりました。保護者・地域の皆様には多くの場面でご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。コロナ禍というこれまでにない状況の中、子どもたちの安全・安心を第一に考え、これまで以上に感染症対策を徹底し、だれもが安全・安心で、元気に、そして豊かな気持ちで年末・年始を迎えることを心より願っております。

